

入間川における気泡について（第5報）

令和5年12月6日に地盤改良体の造成作業に伴う周辺環境への影響を確認するため、一時的に改良体の造成作業を実施し、気体調査及び水質調査を行いましたので、結果をお知らせします。

今回の調査結果を踏まえ、大気や河川の水質に影響を与えていないことを有識者に確認しています。

なお、調査結果を踏まえた気泡発生メカニズムや今後の対応等については、あらためてお知らせします。

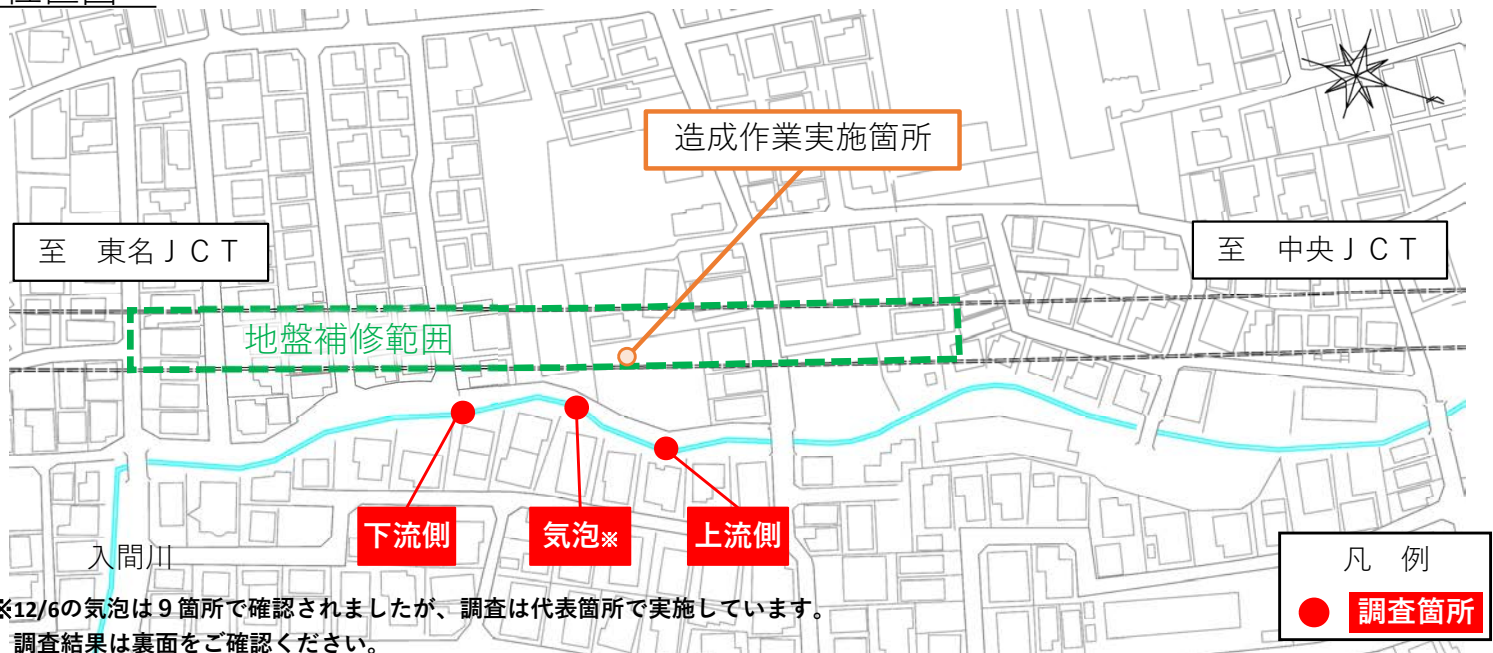
<調査内容>

- ・気体調査：入間川において、発生した気体の酸素濃度及び発生量
- ・水質調査：入間川の水素イオン濃度(pH)、六価クロム含有量及び浮遊物質

<調査期間>

- ・令和5年12月6日（水）

<位置図>



※12/6の気泡は9箇所を確認されましたが、調査は代表箇所で行っています。
調査結果は裏面をご確認ください。

<当日の状況>



気泡発生状況



調査実施状況（水質調査）

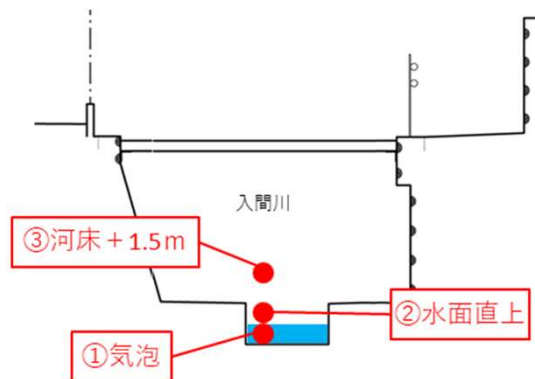
< 気体調査の結果 >

- ・気泡自体の酸素濃度は、基準値を満足しており、大気中の酸素濃度と同程度でした。
- ・また、有識者へ結果を報告し、発生した気体が大気に影響を与えていない事を確認しています。

1) 採取した気体を測定した酸素濃度

酸素濃度 基準値：18%(vol)以上 (酸素欠乏症等防止規則より)	①気泡	②水面直上	③河床 +1.5m
	20.2%(vol)	21.2%(vol)	21.4%(vol)

なお、気体の発生量は0.67L/minでした。



(参考) 気体採取箇所

< 水質調査の結果 >

- ・河川内の水質調査の測定値は、気泡発生箇所の上流側と下流側を比較しても大きな変化はありませんでした。
- ・また、結果を有識者へ報告し、発生した気泡が河川の水質に影響を与えていない事を確認しています。

1) 水素イオン濃度を測定

水素イオン濃度 (pH)	調査箇所	気泡発生前 (8時頃)	気泡発生中 (13時頃) [※]	気泡発生後 (16時頃)
	上流側	8.8	9.3	8.1
	気泡	8.7	9.3	8.1
	下流側	8.7	9.4	8.2

※今回、調査時間が昼頃であることから、藻類等の繁茂に伴う光合成の影響により、気泡発生中の数値が上昇したものと推定しています。

2) セメント分に含まれる六価クロムの含有量を測定

六価クロム含有量 (計測下限値0.005mg/L)	調査箇所	気泡発生前 (8時頃)	気泡発生中 (13時頃)	気泡発生後 (16時頃)
	上流側	0.005mg/L未満	0.005mg/L未満	0.005mg/L未満
	気泡	0.005mg/L未満	0.005mg/L未満	0.005mg/L未満
	下流側	0.005mg/L未満	0.005mg/L未満	0.005mg/L未満

3) 水の濁りを測定

浮遊物質質量 (計測下限値1mg/L)	調査箇所	気泡発生前 (8時頃)	気泡発生中 (13時頃) [※]	気泡発生後 (16時頃)
	上流側	1mg/L未満	1mg/L未満	1mg/L未満
	気泡	1mg/L未満	5mg/L	1mg/L未満
	下流側	1mg/L未満	3mg/L	1mg/L未満

※河床の泥分等が巻き上げられ、一時的に気泡発生中の数値が上昇したものと推定しています。

<お問い合わせ先> ご不安のある方は、個別に対応させていただきます。

東日本高速道路(株) 関東支社 東京外環工事事務所 TEL:0120-861-305 (フリーコール) (受付時間 平日9:00~17:30)

・FAX:03-5923-0963

・e-mailアドレス:tokyo-gaikan@e-nexco.co.jp

(裏 面)